

【各商品の CO2 削減貢献量・節約金額の算出条件】2023年12月版

商品		算出根拠
キッチン自動水栓	・ナビッシュハンズフリー水栓 A9 タイプ	【試算条件】(国研)建築研究所「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。【比較品】整流吐水型シングルレバー[最適流量 6L/分]【引用元】(国研)建築研究所「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」、「(一社)日本バルブ工業会自主基準」および自社基準
タンクレストイレ	・サティス G タイプ (ECO5)	便器洗浄：【試算条件】4 人家族(男性 2 人、女性 2 人)が大 1 回/人・日、小 3 回/人・日使用した場合で算出。【比較品】2002～2006年発売品[大 8L]【引用元】省エネ・防犯住宅推進アプローチブックシャワートイレ：【試算条件】省エネ法に基づいて、湯沸かし方式等の種類別の算定式により、4 人家族(男性 2 人、女性 2 人)で1 日あたり 16 回使用した場合を基準に便座部は季節別、温水部は年平均で年間消費電力を算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間(7.7 時間)で算出しております。【比較品】(タンクレストイレ)1991～1995 年発売品、(シートタイプ)1988～1998 年発売品【引用元】2012 年度省エネ基準防汚(アクアセラミック)：【試算条件】お掃除に流した便器洗浄回数を年間換算して算出。【比較品】アクアセラミックなし[大8L]【引用元】自社基準
シャワートイレシートタイプ	・New PASSO	【試算条件】ユニットバス周辺温度 10℃±2℃の環境下で、4 時間後の温度低下が従来浴槽：7℃・サーモバス S：2.5℃(半年間は温度低下が半分)で、浴槽実用水量：スパージュ 175L、リデア 157L、追いだき回数：1 回/日、年間入浴日数：335 日、ふろ部燃焼効率 80%の給湯器で、給湯後 4 時間後に追いだきした場合で算出。【比較品】サーモバス S なし【引用元】自社基準
浴室シャワー	・スイッチ付きエコアクアシャワー、 スイッチ付きエコアクアシャワーSPA	【試算条件】(国研)建築研究所「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。【比較品】サーモ水栓+シャワーヘッド[最適流量 10L/分]【引用元】(国研)建築研究所「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」および自社基準
洗面化粧台自動水栓	・タッチレス水栓ナビッシュ	【試算条件】(国研)建築研究所「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」における、「東京・4人世帯」の条件にて算出。【比較品】整流吐水型シングルレバー[最適流量 5L/分]【引用元】(国研)建築研究所「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」および自社基準
内装機能タイル	・エコカラットプラス	【試算条件】エコカラットを施工(腰壁 8m ²)した部屋は、ビニールクロス張りの部屋と比較して、就寝時にエアコン(6 畳用 340W・タイマー設定時間 3 時間)を使用する日数が年間で 10 日間減少するとして算出。【比較品】ビニールクロス張りの部屋【引用元】自社基準
住宅用窓 玄関ドア	・ハイブリッド窓 TW ・樹脂窓 EW ・玄関ドア XE ・ジエスタ 2	【試算条件】熱負荷計算プログラム「AE-Sim/Heat」((株)建築環境ソリューションズ)を用いて算出した年間暖冷房負荷を、「平成 25 年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」(一財)建築環境・省エネルギー機構)に基づきエネルギー消費量、暖冷房金額に換算。<住宅モデル>2 階建て/延べ床面積 120.08m ² /開口率：32.2%、「平成 25 年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン <計算地域>拡張アメダス気象データ 2010年版(標準年)の 6 地域(東京)<想定生活者>4 人家族 <想定暖冷房機器>エアコン、暖房：20℃/冷房：27℃・60% <運転方法>間歇運転 <比較住宅断熱仕様>躯体：平成28年省エネ基準適合レベル、開口部：アルミサッシ+単板ガラス/断熱ドアk4仕様 <遮蔽物>居室の窓(8 窓)にレースカーテン、和室に和障子を併用 <ガラスの性能値>JISR3106、R3107に基づき求めた値を使用【TW】窓：TW トリプルガラス(ダブル Low-E グリーン/グリーン、クリプトンガス入り)、玄関ドア：玄関ドア k4 仕様採光付きにそろえて算定【EW】窓：EW トリプルガラス(ダブル Low-E グリーン/グリーン、クリプトンガス入り) 玄関ドア：玄関ドアHG1仕様採光付きにそろえて算定【XE】窓：ハイブリッド窓TW(トリプルガラス)にそろえて算定【ジエスタ 2】玄関ドア：ジエスタ 2 k2仕様 採光付き、窓：ハイブリッド窓TW(一般複層ガラス)にそろえて算定
外付日よけ	・スタイルシェード	【試算条件】熱負荷計算プログラム「AE-Sim/Heat」((株)建築環境ソリューションズ)を用いて算出した年間暖冷房負荷を、「平成 25 年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」(一財)建築環境・省エネルギー機構)に基づきエネルギー消費量、暖冷房金額に換算。<住宅モデル>2 階建て/延べ床面積 120.08m ² /開口率：32.2%、「平成 25 年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン <計算地域>拡張アメダス気象データ 2010年版(標準年)の 6 地域(東京)<想定生活者>4 人家族 <想定暖冷房機器>エアコン、暖房：20℃/冷房：27℃・60% <運転方法>間歇運転 <比較住宅断熱仕様>躯体：平成28年省エネ基準適合レベル、開口部：アルミサッシ+単板ガラス/断熱ドアk4仕様 <遮蔽物>居室の窓(8 窓)にレースカーテン、和室に和障子を併用 <ガラスの性能値>JISR3106、R3107に基づき求めた値を使用【スタイルシェード】居室の 9 窓にスタイルシェード(ノーブルブラウン)を設置
高性能住宅工法	・ココエコ ・まるごと断熱リフォーム	【試算条件】熱負荷計算プログラム「AE-Sim/Heat」((株)建築環境ソリューションズ)を用いて算出した年間暖冷房負荷を、「平成 25 年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」(一財)建築環境・省エネルギー機構)に基づきエネルギー消費量、暖冷房金額に換算。<住宅モデル>2 階建て/延べ床面積 120.08m ² /開口率：26.8%、「平成 25 年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン <計算地域>拡張アメダス気象データ 2000 年版(標準年)の東京(6 地域) <想定生活者>4 人家族 <想定暖冷房機器>エアコン、暖房：20℃/冷房：27℃・60% <運転方法>間歇運転 <比較住宅断熱仕様>躯体：昭和55年省エネ基準適合レベル、窓：アルミサッシ単板ガラス、玄関ドア：非断熱仕様 <ココエコ改修仕様>LD を改修、躯体(LD外壁2面)：ウォールインプラスを設置、躯体(LD床)：フロアインプラスを設置、窓：インプラスLow-E複層ガラス(グリーン)を設置 <まるごと断熱リフォーム仕様>躯体(外壁)：既存壁に硬質ウレタンフォーム断熱材(1種2号相当品)45mmを設置、躯体(床)：既存床に吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(A種3)115mmを施工、躯体(天井)：既存天井に吹込み用グラスウール断熱材(LFGW1852)250mmを施工、窓：全窓にインプラスLow-E複層ガラス(グリーン、アルゴンガス入り)を設置、玄関ドア：リシエント玄関ドア3 高断熱仕様に交換、換気設備：各居室にダクトレス熱交換換気を設置
	・スーパーウォール工法	【試算条件】エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) Ver.2.3.1(国立研究開発法人建築研究所)を用いて暖冷房の一次エネルギー消費量を算出し、消費電力量、CO2 排出量、暖冷房金額に換算。<住宅モデル>2 階建て/延べ床面積 120.08m ² /開口率：26.8%、「平成 25 年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン <計算地域>6 地域【比較品】昭和 55 年省エネ基準適合レベル住宅【スーパーウォール工法】断熱パネル：スーパーウォール DUAL、窓：サーモスX Low-E 複層ガラスグリーン・クリア(アルゴンガス入り)使い分け、玄関ドア：断熱玄関ドア k1.5 仕様、換気システム：第一種換気 <電気換算係数(一次エネルギー)>9.76MJ/kWh
太陽光発電システム	・ラックレスタイプ	本シミュレーションは以下の諸条件で算定したものです。○東京地区 7.72kWシステム、南面、屋根傾斜1寸勾配(約5.6°)設置 ○年間発電量予測=8,417kWh ○料金は東京電力(2023年12月1日現在)の料金表から算出。電力プランはスマートライフLを適用 ○太陽光発電電力使用量は1,800kWh/年で試算 ○売電価格は16円/kWh(税込)で試算

リフォーム用窓 リフォーム用玄関ドア	・リプラス ・インプラス ・リシェント玄関ドア3	【試算条件】熱負荷計算プログラム「AE-Sim/Heat」((株)建築環境ソリューションズ)を用いて算出した年間暖冷房負荷を、「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」(一財)建築環境・省エネルギー機構)に基づきエネルギー消費量、暖冷房金額に換算。<住宅モデル>2階建て/延べ床面積120.08m ² /開口率:32.2%、「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン<計算地域>拡張アメダス気象データ2010年版(標準年)の6地域(東京)<想定生活者>4人家族<想定暖冷房機器>エアコン、暖房:20℃/冷房:27℃・60%<運転方法>間歇運転<比較住宅断熱仕様>躯体:昭和55年省エネ基準適合レベル、開口部:アルミサッシ+単板ガラス/玄関ドアアルミ仕様<遮蔽物>居室の窓(8窓)にレースカーテン、和室に和障子を併用<ガラスの性能値>JISR3106、R3107に基づき求めた値を使用【インプラス】居室の9窓にインプラスLow-E複層ガラス(クリア、アルゴンガス入り)を設置【リプラス】居室の9窓をリプラスLow-E複層ガラス(クリア、アルゴンガス入り)に交換【リシェント】玄関ドアをリシェント玄関ドア3高断熱仕様採光付きデザインに交換
ビル用高断熱ハイブリッド窓	・PRESEA-H	【試算条件】熱負荷計算プログラム「AE-Sim/Heat」((株)建築環境ソリューションズ)を用いて算出した年間暖冷房負荷を、CO2排出量、暖冷房金額に換算。<住宅モデル>RC集合住宅妻側最上階住宅(3LDK/延べ床面積70m ² /開口率21.1%)<計算地域>拡張アメダス気象データ(SMASH形式)東京<想定生活者>4人家族<断熱仕様>平成25年省エネルギー基準仕様(全部位内断熱)<開口部>従来品...サッシ:金属製、ガラス:単板ガラス、PRESEA-H...サッシ:PRESEA-H、ガラス:LowE複層ガラス(A10以上)日射取得型<想定暖冷房機器>エアコン(暖房:居室連続、冷房:居室間欠、暖房設定温度:20℃、冷房設定温度:27~8℃、COP:3.0)<電気換算係数(二次エネルギー)>3.6MJ/kWh<遮蔽物>居室にレースカーテン併用

■ 料金単価 (2023年7月調べ)

項目	料金単価	出所
電気	31円/kWh (税込み)	(社)全国家庭電気製品公正取引協議会新電力料金目安単価
都市ガス	179円/m ³ (税込み)	東京ガス一般料金
上下水道	265円/m ³ (税込み)	東京都水道局配管径20mm、30m ³ 使用

■ CO2 排出係数 (2023年7月調べ)

項目	CO2 排出係数	出所
電気	0.463kg-CO2/kWh	(一社)日本電機工業会 HP/CO2 排出係数
都市ガス	2.23kg-CO2/m ³	地球温暖化対策の推進に関する法律
上下水道	0.49kg-CO2/m ³	(一社)日本レストルーム工業会 HP/水のCO2換算係数